

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-beisuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

数年前までサラリーマンだった私は、自坊に戻った後もただお参りを毎日こなすだけの平凡な毎日を送っていた。

ところが三年前、別院で御遠忌が勤まり、私も掛役として法要をお手伝いさせて頂いた。いろいろご縁に恵まれた。法要の力強さと、掛役をはじめ、助音方、楽人が一体となってお荘厳していくということがとても新鮮に感じられた。

また、教区の先生方や先輩方、私と年の近い若手僧侶との様々な出会いがあったことも嬉しかった。そんなこともあり、私は別院で講習やイベントなどがあれば頻繁に顔を出すようになった。一昨年には真宗学院生として教師を目指す仲間たちと共に真宗の教えを勉強している。なので確実に週一回は別院に通っている。そして同時期に教区の夏のキャンプや各寺院の子ども会に関わらせていただくというご縁にも恵まれた。

私が教区や別院に行くようになって感じたことは、自坊にいただけではできないようなことが、別院のいろいろな行事に関わり、そこに集まる人たちと一緒に活動できることが別院の魅力なのだと思う。一人では歩めなくても、共に歩む御同朋・御同行がいるということは、

元々引つ込み思案な私にとってもとても頼りになり、ありがたいことである。

今では別院は私の生活にとつてなくてはならない場所になったと感じる。いろいろなご縁と出遇いの場となった別院に感謝しつつ、私自身ももつとたくさんの方に別院の魅力を伝えていければと思う。

小原 暁氏 (第十六組存念寺)

▲小原氏には、お取り越し誓願講の掛役や教区の児童教化研修会部門の子ども会巡回担当などをお願いしていますが、六月一日から非常勤職員としてお勤めいただくことになりました。



○次回の「三條別院に想う」は、

鈴木 直氏 (三條中央商店街理事長) より

ご執筆いただきます。

カンジヤマ・マイムがやってきた!

五月十九日(土)に三條別院公開講座が開催されました!今年の講師は、カンジヤマ・マイム代表で教育演劇学博士の藤倉健雄氏で講題は「笑って楽しむマイム芸人の仏道探求物語」。パントマイムのコツは、①止める②分解③想像することのこと。インドで修業したレインボーマン(阿耨多羅三藐三菩提!)にあこがれた少年時代と、パントマイム修業時代、子どもとインドに旅した話など多岐に渡ってお話いただきました。

難病の少女を前にしたパントマイムは、人間という枠の中ではとてもできないということも話され、宗教とパントマイムについても考えさせられました。

師匠の永六輔とのあい話(永六輔の六は「南無阿弥陀仏」の六字の六だそうです!)もあり、永六輔の俳句をパントマイムで演じたり(「寝返りをうてば土筆は目の高さ」)、死をテーマにしたパントマイム「バイオリン弾き」など、身体表現を通して

「人間が生きる」ということはどういうことなのかを考えさせる、普通の法話の枠にはまらない講義でした。これまでの公開講座では、心と仏教ということをや



【バイオリン弾き】

ママに考えてきて、身体と仏教ということでお話しくださる予定でした。予想に反して、さらに感情や教育やそもそも人間が生きるということとはどういうことなのか考えさせられる二時間三十分で、仏教の可能性がさらに広がる予感がありました。



【永六輔の俳句を表現。土筆と子どもの成長が重ねられる】

春の別院奉仕研修報告

五月二十五日（金）に推進員別院奉仕研修が行われました！推進員の方々と職員総勢六十人弱での、清掃活動です。二十五日は天気が良く、絶好の清掃日和となりました。

途中のお昼休憩では、三条中央商店街で営業されているベジテールさんのお弁当を頂きました。野菜を中心に、たけのこや新じゃがなどが五月の旬の食べ物が盛りだくさんでした。

昼食の後は、三条の魅力的なお店を知ってほしいということで、中央商店街の町歩きをしました！商店街組合理事長の鈴藤呉服屋さんや寝具のすみやさん、PIPPI（ピッピ）の名称で親しまれる羽生文具店さんや、創業九十年のお菓子の老舗、むさし屋さんなど、多くのお店を巡りました。町歩きの後には、清掃奉仕の仕上げ。皆さんテキパキと動いていただいたおかげで、予定よりも三十分早く終了することができました。

▲ベジテールの白鳥氏（下段右上）、すみやのまくら診断（下断右下）。三班に分かれ、列座の引率で町歩き。



宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会を開いております。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 六月二十八日（木）午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和 讃 回口 次第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

大久保 州氏（佐渡組廣永寺）

『歎異抄』に聞く 第九章

▲『歎異抄』に聞くをテーマに、各講師一章ずつ担当してお話しいただいています。

◆今後の講師一覧 『歎異抄』に聞く

七月 木村邦和氏（第十三組専行寺）【第十章】

八月 北條祐史氏（第二十三組長願寺）【第十一章】

九月 朝倉 奏氏（第二十組金寶寺）【第十二章】

十月 村山まみ氏（第十一組願興寺）【第十三章】

十一月 佐々木憲雄氏（第十五組光善寺）【第十四章】

十二月 石塚祐堂氏（第十五組長泉寺）【第十五章】



定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日（両度の命日）に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より（一時間程度）

◆場所 三条別院 旧御堂

◆講師

五月～七月 永寶 卓氏（第十組浄敬寺）

「良寛の出生と出家」（5月）（終）

「良寛と真宗門徒」（6月）

「良寛と真宗門徒」（7月）。

▲出雲崎良寛記念館館長代理の永寶氏によるお話しです。

その他の講座案内

○別院声明教室（全五回・途中参加可能）

〔月一回、午後六時～八時〕

二月二十一日（水）〔済〕、三月二十日（火）〔済〕

四月十八日（水）〔済〕、五月十六日（水）〔済〕、

六月十三日（水）

講習内容 真宗大谷派勸行集（赤本）

講師 中富正純氏（第二十三組福照寺）

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）

月謝 二七〇〇円（テキスト代含む）



随時募集中

○別院奉仕研修

日程及び内容については、ご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日一五〇〇円

◎食事代（昼・夕食は業者発注）

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○座談「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○三条別院有志の会

月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊（絵像）をお迎えして、開法会を開催しませんか？輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。

◆◆編集後記◆◆

公開講座が無事に終了し、年度末の事業報告・計画を作成する時期になってきた。語弊があるかもしれないが、その際、別院の「成長」ということを考えているつもりである。私自身、人間が子どもから青年になり、大人になっていくという成長に関心をもっている。しかし、そうすると成熟・未熟という視点からものごとを見がちで、かつ自分はその視点をかなり「正しい」と思っているの

で、それで人を見下したりして問題をおこしがちである。最近、「信心獲得は一八〇度だが回心は三六〇度だ」と言われた。一八〇度回った自分と回っていない人間は反対方向を向いている気がする

ので、自分は問題をおこすのだなと思ったが、もう一八〇度回るにはどうするのか？（斎木）

三条教区通信

第130号

発行日 2018年6月1日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

じりき
自力の
おん
御はからいにては
しんじつ ほうど
真実の報土へ
う
生まるべからざるなり

『親鸞聖人血脈文集』親鸞聖人

We can never be born in the true and real Pure Land through self-power calculation.

Letters of the Tradition, Shinran Shōnin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

災害支援実行委員会の活動にご協力ください

主に春と夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2017年度においてご協力いただいた金額は 213,060 円となりました。御礼を申し上げ、今後とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災及び熊本地震については、宗派の救援金口座も引き続き設けられておりますので、教区と同様に何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

宗派 東日本大震災救援金口座

【郵便振替口座番号】01030-4-2244

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部(救援金)

宗派 熊本地震救援金口座

【郵便振替口座番号】01010-0-2608

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部

研修会のご案内

御坊市 2018

案内 既送

◆日時 2018年6月23日(土)・24日(日)
両日 10:00~16:00

- ◆場所 三条別院
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)
- 第56回 児童夏の集い 案内 同封
- ◆期日 2018年8月20日(月)~22日(水)
- ◆場所 わらび平森林公園キャンプ場
- ◆対象 小学3年生~中学3年生
- ◆参加費 10,000円(2泊3日キャンプ代、食事代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 教区推進員教習 案内同封

- ☆前期教習☆
- ◆日時 2018年12月15日(土)~16日(日)
- ◆場所 教区同朋会館
- ☆後期教習☆
- ◆日時 2019年2月23日(土)~25日(月)
- ◆場所 東本願寺同朋会館(京都)
- ◆講師 渡邊 学氏(第23組 明正寺住職)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 新任教師研修会 報告

第10組浄敬寺 永寶幸江
5月10日~11日 1泊2日の日程で新任教師研修会が狐野秀存大谷専修学院長を講師にお迎えして開催されました。本年度は「真宗の儀式~僧侶としての生活~」をテーマにご講義をいただきました。



講師の狐野秀存氏 於旧御堂

先生は、真宗の儀式は弥陀会であると言われ、昨年ご自身が復刻された「美知子の遺言」(宮森サヨ著)の本から真宗門徒の姿をとおした仏教の原点「出離生死」のお話をいただきました。また、学院の他の先生の言葉を引用して真宗僧侶の三つの仕事・真宗の儀式を勤める・現在帖を作る・寺報を出すことを示されました。翌日には学院の理念から、僧侶としての生活・葬儀儀式についてもお話をいただきました。



感話の様子 於三条別院本堂

班別座談会では、先生の講義内容やそれぞれの立場の中で抱える疑問等の意見交換が行われ、その後の懇親会での交流に繋がりました。



懇親会で全員が1分間感話

声明スタッフによる丁寧な声明作法の習礼、晨朝出仕もあり、大谷派教師としての歩みを再確認する貴重な研修会だったと思います。



声明作法習礼の様子 於三条別院本堂

教務所からのお知らせ

◎法務お手伝いの募集について

新潟市中心部の御寺院で法務お手伝いのできる方を探しています。ご希望の方は教務所(Tel 0256-33-2805 担当結城)までご連絡ください。

◎8月の得度式・臨時得度式について(お知らせ)

期日 臨時得度式 8月4日(土)
得度式 8月7日(火)
いずれも前日に説明会あり。

申込 4月1日(日)から6月20日(水)まで
注意 例年、臨時得度式に申し込みが集中し、体調を崩す受式者のため、儀式執行や日程運営に支障が生ずることがあります。
そのため、申込みがどちらかの期日に集中した場合は、受式日を変更していただく場合があります。何とぞご理解とご協力をお願いします。

◎大谷大学卒業生の皆様へ

同窓会本部から、広報誌を発送する際に「あて所に尋ねあたらず」返送されるケースが多いため、届出住所の更新のお願いがありました。

住所変更は同窓会ホームページから、または電話・FAXでも受け付けています。

大谷大学同窓会 HP <http://www.mujinto-otani.org/>

「住所等変更届メールフォーム」バナーから

大谷大学同窓会本部(校友センター)

TEL: 075-411-8124

FAX: 075-411-8157

◎教区行事予定表 2018年

| | | |
|---------|----------------|---|
| 6/2(土) | 14:00 | ～6/3(日)東北連区保育大会 真宗学院 |
| 6/7(木) | 14:00 15:00 | 災害対策委員会 参事会 |
| 6/8(金) | 15:00 | 保育研修会部門会議 |
| 6/9(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 6/11(月) | 14:00 | 教化センター運営委員会 |
| 6/13(水) | 14:00 | 企画委員会 |
| 6/14(木) | 14:00 | 災害支援実行委員会 教化センター閉講式 |
| 6/15(金) | 13:30 | 坊守研修会部門会議 |
| 6/16(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 6/19(火) | 14:00 | 同朋の会教導連絡協議会 |
| 6/20(水) | 14:00 | 教区教化委員会 |
| 6/21(木) | 13:30 | 若坊守准坊守のつどい実行委員会 |
| 6/22(金) | | ～23(土) 推連協高田・三条交流学習会 |
| 6/23(土) | 14:00 | ～24(日)御坊市 真宗学院 |
| 6/26(火) | 14:00 16:00 | ～27(水) 児童夏の集い事前研修 推連協会計監査 化身土巻輪読会 |
| 6/30(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 7/7(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 7/9(月) | | 教区監査 |
| 7/12(木) | 13:00 | 推連協第44回総会 |
| 7/14(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 7/18(水) | 14:00 | 決算委員会(教区会) |
| 7/19(木) | 14:00 | 予算委員会(教区会) |
| 7/20(金) | 14:00 | 特別委員会(教区会) 予定 |
| 7/21(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 7/28(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 7/30(月) | 14:00 | 常議員会(別院院議会) |
| 8/4(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 8/6(月) | 14:00 | 院議会(別院) |

| | | |
|---------|-------|---------------------|
| 8/8(水) | 10:30 | 女性研修会部門会議・学習会 |
| 8/18(土) | | ～19日(日)真宗学院特別講義 1・2 |
| 8/20(月) | | ～22日(水)児童夏の集い |
| 8/23(木) | 9:30 | 声明基本講習会 |
| 8/25(土) | 14:00 | 真宗学院 |
| 8/27(月) | 15:00 | 研修部会 |
| 8/29(水) | 14:00 | 企画委員会 |
| 8/30(木) | | 大谷大学同窓会 |

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

人間は、足から死んでいく 蟹江ぎん

一昔前、ご長寿姉妹として一世を風靡した「きんさんぎんさん」。表題の言葉は 108 歳までお元気に生きられた妹の“ぎんさん”こと蟹江ぎんさんが「人は足から死んで行くんだから、足だけは鍛えていないとあかん」と長寿の秘訣としてご家族に伝えてきた言葉だそう。実際にぎんさんの 5 人の娘さんのうち、幼くして亡くなられた次女以外の4人がこの言い伝えを守りながら 100 歳を超えても、もしくは間際にしても元気に暮らしていたと聞く。確かに私の身の周りでお年を召されていてもお元気な方は足腰が達者でシュツとしている▼さて思いを仏教界に馳せると、長寿と聞いて私がまず思い起こすのは親鸞聖人、そして釈尊のお二人である。それぞれ 90 年、80 年のご生涯であられたが、当時の状況を鑑みればお二人とも相当な長寿であったはずだ。時折、私は親鸞聖人や釈尊がなぜあれだけ長生きであられたのだろうかを考える時がある。周りに話す人が沢山いたから、常に何かを考えていたから、いろいろな物を(肉を含め)食していたから…等々、様々なことが想像できるが、やはりぎんさんが言うように自分の足で歩き続けたということも長く生きられた要因なのではないだろうか▼越後七不思議や東国での布教、もしくは『大般涅槃経』などを思えば(そのほかにも山ほどあるが)、お二人の生涯は「旅」であったと言っても過言ではないのではないだろうか。常に歩き続け、新しい何かに出会い続ける中で、御自身の思想の真实性を確かめられていった、そんな親鸞像、釈尊像を私は抱いている。実際に健脚であったかどうかは別として、その<動>的な生き方に、老いに対するネガティブな印象はない▼元気だから歩き続けられるのか、歩き続けるから元気なのか。その因果関係はわからない。足腰の強さは人それぞれ持って生まれたものがあるのだろう。ただ、ぎんさんの「人間は、足から死んでいく」という言葉は、常に出会い続け、確かめ続けていくという<動>的な生き方を自分は大事にしているのだろうかとか問いかけてくれる、私にとって大切な言葉である。

高田直来

新潟親鸞学会からのお知らせ

ご案内

■当会第 14 回大会記念講演(一般)

当会新発田大会の記念講演に中島岳志(なかじまたけし)先生をお迎えします。先生は若き論客としてマスコミにしばしば登場しますが、大谷派教学員として教団に対しても積極的に発言されています。『親鸞と日本主義』(新潮選書¥1,400-)もホットな論議となっています。

ぜひこの機会にご聴講ください。

日時 2018年6月12日(火)14:00～15:45

会場 長徳寺(新発田市大栄町2)

講題 「戦前の親鸞思想は、なぜ国粋主義に接続したのか」

講師 中島岳志先生(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

聴講料 ¥500-

■其他のご案内

○第 25 回真宗大谷派教学大会

日時 2018年7月1日(日)9:00～16:00
(開場 8:30～)

会場 大谷大学(慶聞館)/京都市北区小山上総町
テーマ 「真宗の救済観」

記念講演 ①ケネス田中氏(武蔵野大学名誉教授)

「アメリカ仏教における真宗—日本の真宗救済観への示唆となるか?」

②広瀬 惺氏(真宗大谷派副講)

「本願力回向—真宗救済の基点—」

問合せ 真宗大谷派宗務所教育部 075-371-9193

一般来聴歓迎(聴講無料)

■「曾我・平澤記念館ゆかりの講演会」ご案内

曾我・平澤記念館ゆかりの講演会実行委員会が、味方の笹川邸内曾我・平澤記念館で次の講演会を開催します。聴講ご希望の方は直接記念館へお申し込みください。

日時 2018年6月17日(日)10:00～11:30

会場 曾我・平澤記念館 2階企画展示室(新潟市南区味方 213)

[当日は諏訪神社側からお入りください]

講題 「曾我量深先生を憶念して」

講師 本多弘之先生(親鸞仏教センター所長)

聴講料 無料(記念館へ6月9日までに申し込み必要)

問合せ 曾我・平澤記念館

TEL 025-373-6600 FAX 025-373-6662

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内

〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783

Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com